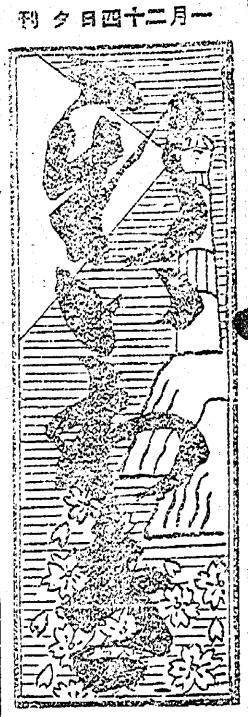
（第三種郵便物認可）（昭和五年三月廿一日）
昭和十年一月二十五日 【日刊】 新いわき 【金曜日】 第一千三百八十號 （一）

一月二十四日夕刊



昭和十年一月二十五日 第二種郵便物認可
一ヶ月 二十五錢
郵送料 一部二錢
廣告料 一行 四十錢
場所指定 弐拾錢增
發行所 福島縣平町大字二三
新いわき新聞社
發行兼編輯印刷人 平谷政吉

鐘紡工場の誘致
平町は有望なり
津田社長も實地踏査に來る
運動經過に就いて

鐘紡誘致運動のため上京した青沼町長以下委員一行は二十三日津田鐘紡社長に會見鐘紡工場を平町に設置されたいと携えた各種參考資料を提示して猛運動を試み可成りの運動効果を上げて歸町した青沼町長は運動經過に就て

平町としては是非工場設置を促進して欲しいと考へて凡ゆる參考資料を以て迫つたのだが津田社長は會社としては東北凶作地救濟のため絹糸紡工場を福島縣下一ヶ所に設置したい腹案があり電氣料、水道料、敷地買收等の高低なぞは餘り考へてゐない平町の希望はよく分明したから自分も是非視察したいと思ふし近々社員を是非踏査に差し向ける考へだが今年中に設置するとは言明出來ない…　と言つて居り各地の誘致運動もあり平町に決定するまでは相當の時日と運動を要する樣だ

市制調査會第一回
部長會招集決定
調査費、調査範圍等
重要諸案を協議

（既報）平町の市制調査會が各部所屬委員並に各部長の顔觸れも決定愈々具体的活動に乘り出すべく既に各部毎に調査基礎案その他着々準備を急いでゐたが表面的活動に着手するのには必然的に豫算關係も考慮しなければならず青沼町長は十年度豫算の編成に際し當然調査會費用を要求するものと見られてゐるが此れ等豫算關係並に各部の調査範圍を決定するため二十六日午後一時から町長室に第一回部長會を招集協議することになつた即ち當日は井上、野崎、萩原關内、坂本の五部長並に青沼町長の六氏會同し調査費の豫算要求額並に各部間の連絡九

年度追加豫算として調査費要求の可否等重要案を審議する筈で將來大平市建設の最高方針を決定する部長會議として各方面から成行を注目されてゐる

保管倉庫の增築と
上屋ホームの延長
愈々輻輳し初めた平驛の貨物
殊に小口到着貨物の增加

平驛に於ける貨物の集散は殊に小口物の到着貨を激增したので現在の保管庫二十一坪に更に六坪の增築を最近落成したが尙ほ同驛では十年度の計畫に貨物ホームの上屋三十八米を延長し降雨雪の場合取扱ひ諸貨物の損傷を防ぐ筈であつて同驛に於ける今年の貨物取扱ひ增加は過ぐる好景氣初頭のそれに似通ふもの多く愈よ本格的の景氣到來かと鐵道側ではホク〳〵してゐる

常識講座

ハイキングは天幕旅行とか野營旅行のことだハイは高いことキングは王樣だ、共れで高い王樣では變なものになる、意味は人なき里を我れ一人の物とする謂はゞ王者の氣持からか

石城販利通常總會
十週年祝賀を附議
記念の催は來る櫻花の期か
會議は明日マルトモで

石城郡販賣利用組合の通常總會は明二十五日午前十時から平町マルトモホールに於て開催二十一名の總代員を會して左記の諸項を附議の筈である

櫻花期がよからうと云ふ意向らしく祝賀會の招待には同業組合長その他關係者約二百名を算するものゝ如く組合員一千百余名には記念品を贈る由である

議案九年度財産目錄貸借對照表損益計算書に付き承認を求むる件　繭市場八年度操糸立替金内容明細報告　昭和十年度借入金最高限度猶豫金預入先決定（現在は常磐、七十七、農工の各行）各種立金を事務資金に融通の件　縣信出資增口　事業開始十周年記念祝賀會舉行　理事任期滿了に付改選の諸件

平驛前廣場の舗裝
縣道舗裝と共に着工
後藤驛長から昨日申請

平驛廣場の舗裝は既報の如く既に側溝を完成して大平驛の立關を飾るべく準備を進めてゐる鐵道側では去る十七日池田東鐵局長の來平にも施行を認められてゐるが豫ねて平土木監督所及び平町に右交渉を進めてゐた後藤平驛長は驛前縣道の舗裝工事と同時に起工したい意向を添えて昨廿三日上局に申請したが驛前の舗裝面積は千四百平方米であると

哀れな極貧家庭に
相談所が餅代を贈る
平町を除く十七ケ町村の
百三十九戸に對して

（既報）平警察署では舊歲末に際し恒例により管内居住の極貧家庭に人事相談所から餅代を施與し哀れな人達にも新春氣分を味はしてやりたいと過般來全管内の細民極貧者を調査中であつたが平町を除き内郷、湯本、好間以下十七ケ町村の極貧家庭は百三十九戸その家族約七百名に達してゐる事判明したので横山署長は今二十四日午前十時から署長室に幹部署員會議を開き極貧者家庭に餅代施與の割合を協議した結果平町は助成會が主体となつて救濟してゐる關係から相談所としては助成會宛に若干の資金を交附し更らに前記百三十九戸約七百名に對しては一戸一人に就き糯米二升以上一人を增す毎に十錢程度宛惠贈する事になりその配給については現品にするか金錢によるか未定であるが來る二十七日に管内駐在巡査を通じて餅代を施與する事に決定

御殿少年團
結團式擧行

内郷村高坂小學校では四年生以上の上級生百五十名が少年團を組織することになり團旗調製その他の準備を進めてゐたが愈々二十七日午後一時から高坂山神社境内に於て盛大な結團式並に團旗の樹立式を執行することになつたが團名は御殿少年團と稱えることになつた

鎭守社前に
更生を誓ふ
深山田實行組合で舊正月元旦に

石城郡上遠野村の大字深山田に於ける農事實行十ケ組合が聯合會を組織して農村更生の氣を促すに每朝板木を叩いて朝起きを奬勵し購入販賣その他總てを共同力によつてゐることは既報の如くであるが來る舊正月元旦には全部落午前三時起床青年團を諸共に組合全員鎭守社に參拜して神前に更生諸策の實行を誓ふと

磐女寄付協議員會

町村評議員會では二十八日午前十時から平町會議室に於て臨時評議員會を開き縣立磐城高等女學校の學級增加に對する地元寄付金の町村割當額を協議する

磐女矢場開き

平町縣立磐城高等女學校では工費四百圓を投じ弓道場の新設工事中であつたが此の程竣成したので二十六日午後一時から盛大な矢場開き式を擧行する

平署管内第一の
大年增酌婦自殺（未遂）
夫婦約束をした男が無情と
今朝荒繩で縊首

湯本町大字向田料理店佐藤イ一ノ方酌婦一條ツネ（四三）は今二十四日午前九時頃家人の隙を見て同家奥の客間で荒繩を梁に吊るし覺悟の縊死を企てブラ下つて苦悶中を主人イノが發見大騒となり直ちに引降して應急手當を加へたので一命は取り止めた平署から係官出張調査の結果自殺の原因はツネは四十二才平署管内幾百の酌婦中最高令の大年增で餘り客も少く僅か九十圓の前借で泥水稼業を續けてゐた者で昨年十月中から磐崎村大字下湯長谷字磐崎五四鍛冶職の太田原國松（五〇）と云ふ中爺さんと懇の仲となり馴染を重ねてゐる中國松は春までには必らず身受して一緒になると云ひながら金策が出來ないので昨今次第に足が遠のいてきたので大年增のツネは前途を悲觀唯一人の頼りとする國松にテッキリ裏切られたものと邪推して自殺を決意したものと判明した

トラック大暴れ
深夜民家に飛込む
板戸三枚、柱二本を折る
運轉手のゐるねむりからか

湯本町天王崎鈴木自動車部運轉手荒谷福次郎（三）は今二十四日午前三時頃貨物を滿載したトラックを運轉平町に向つて疾走中内郷村大字御厩字上口地内國道にさしかゝつた際突如運轉を誤り路傍の民家佐藤ヨテ方の表戸に激突し同家の板戸三枚、障子三枚、柱二本を滅茶〳〵に粉碎してトラックは屋内土間に椿入した家人は奥の間に臥床中であつたため人畜には死傷なかつたが物凄い大音響に附近の人々も熟睡の夢を破られ同家表は大騒ぎを演じた平署で被害並に原因の調査中であるが運轉手の假睡から〳〵しいと

信用組合
總代會
明日午後一時

信用組合平庶民金庫では二十五日午後一時から定例決算總會を開き決算並に利益金配當案等を協議する

またぞろ
自轉車の盜難

なかやの店頭で

平町二丁目なかや洋服店で昨二十三日午後九時頃店頭に置いた自轉車一台約三十圓が何者かのために窃取され平署に届出たが平地方に於ける最近の自轉車盜難事件頻々たるものあり專門的の自轉車窃盜が横行してゐるものと睨み平署で極力犯人の捜査を續けてゐる

菜は斯くして漬ける（一）

縣農講同窓會

普通菜漬と稱するは葉菜類を一種の鹽漬けにしたるもの、總稱で、從つて菜の種類によつ用ふる鹽の分量も異なるのである、今日の如く園藝業が發達し各所によい菜類が出來てゐるので、その漬け方を知ると云ふことは最も必要なことばかりではなく菜漬けにはビタミンが可成多く含まれてゐるのである、然し一面また寄生虫の媒介となり、人体を害することも少なくない、即ち寄生虫には十二指腸、膿チフス、赤痢等の寄生虫がよく菜の生漬から傳染するがある是れを防ぐには晒粉を用ふれば虫も病菌も共に死滅するのである、其の分量は清水一升に二―三匁を溶かして其の中で洗ひ用ふればよいのである、チシヤ、甘藍等の如く生食するものは是非クロールカルクに浸して用ふるとよい、是れは馴れぬと一種の臭みがある、尤も石油も出來初めは隨分に嫌はれたものであるが今日では何んでもない樣に殊に此の晒粉は生命を長くする香であると思へば何んでもなく食べることが出來る、故に淺漬けに用ふる菜類にはこの液に浸して後に用ふることを忘れてはならぬ、

『漬け方』結球白菜は塵、砂虫藥のなきところまで外葉を剝ぎとり、一定の大きさにして外葉のみを水洗するのである、而して頭に庖丁を一―二寸入れるのである、その入れ方は餘りに深目に入れると層葉が多く出るから頭の先にチヨット庖を入れ、指を押し込んで割り、芯部即ち堅いところに淺く二―三庖丁を入れて芯の部、外葉の良い部、外葉の割い部と各々別々に洗ひ置くのである、香料としては玉葱、種子ぬき、蕃椒、橙の皮等である、

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町田町

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋　山崎合名會社
電話　本店　營業部　一七〇番
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

若人向、紳士向　・富豊柄の流行新
冬の中折帽子とネクタイ
・特選優秀ソフト　¥2,00
・〃　國產フワー　¥5,50
・セラフイツク　帽　¥6,00
ツルヤに　電一四〇

正確なる体温計　寒暖計（各種）
計量器指定販賣
平町五丁目角　山野邊藥局

しづかに食事の出來る正しい喫茶正しい食堂正しい酒場
平田町　レストラン　サロン　電三五二

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社
特約販賣
油問屋　關内油店　磐城平　電話長16
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院　院長　醫學士　高久忠

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院　院長　日本齒科醫學士　中野憲次
日本齒科醫學士　西川誠　平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
電（話六四一番）
院長　醫學博士　石山謙郎
内科　部長　醫學博士　小兒科　手醫學士　平賀一忠
産婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正
X光線科　醫學博士　石山謙郎
物療科　技術員　石山利彰
衛生試驗所獸醫　高後雄
藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
病室完備……入院隨意……

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町　電三〇七
平看護婦會　會長　清野キヨ
御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭
經濟的な御便宜ご用命をお願致升

店舗擴張移轉
皆樣の御ひゐきを頂いて居ります
製造販賣アサヒ靴店
世界館前に店舗擴張移轉致ました
御注文、修繕物ゴムグツ各種　アサヒ靴店
平町驛前大塚末吉

雨露に胸を張る　強く太く逞ましく
逞ましく
朝日
日本セメント製
朝日煙突
絶對にはなれない
くさらない
經濟的で
美しくて
金屋商店

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
自炊の便あり